

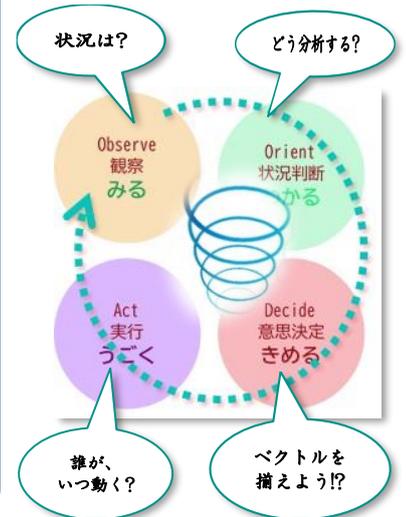
学校経営方針

未来へ Think globally Act locally

学校教育目標

展望する力<知>、つながる力<徳>、挑戦する力<体>の調和を大切にした教育の推進
～一人ひとりの子どもに、愛情と信頼と期待とで「包み込まれているという感覚」を実感させる～

OODAループ



目指す子ども像

《よく考え、心豊かで、元気な子》
迫り方

- ① 学期始めに『自己振り返りカード』17項目を共有し、自己目標を設定する。
- ② 学期末に自らの成長と課題を振り返る。
- ③ 次学期の目標を設定する。
- ④ 3学期間繰り返すことによって、目指す子ども像に迫っていく。

		1学期		2学期	
番号	質問内容	できた	できなかった	できた	できなかった
1	学校で学習したことを理解する(マスター)することができた。				
2	難しい問題に取り組む時、これまで学習したことを生かして考えようとした。				
3	学校で学習したことを生活に生かそうとした。				
4	いつも好きな本(マイブック)を机やロッカーの中に置いていた。				
5	いろいろなテーマの本に興味・関心をもちようとした。				
6	分からないことや新たな課題があると、進んで調べ、解決しようとした。				
7	家庭学習は自分のためにやるもどと思っていてがんばった。				
8	他の学年の人とも仲良くしようとした。				
9	いじめを許さず、仲間を大切にしようとした。				
10	安心して、楽しく学校に通うことができた。				
11	学級目標を常に振り返りようとした。				
12	休み時間に友だちと遊び、仲間づくりに取り組んだ。				
13	友だちのよさを認めあおうとした。				
14	ペアやグループでの学習に積極的に取り組んだ。				
15	学級のみならず自分の思いや考えを積極的に伝えようとした。				
16	授業のめあてを書き、めあてに向かって、学習に取り組んだ。				
17	道徳の授業では、深く考えたり、発表したりすることができた。				

目指す教師像

- 【気付く力】子ども一人ひとりを深く理解し、その小さな変化を見逃さず、愛情と信頼と期待とで包み込みながら、受動的・共感的にかかわることができる。
- 【伸ばす力】子ども一人ひとりの自己肯定感を高めながら、その個性や能力を引き出し、最大限に伸ばして、未来を切り開く力を育むことができる。
- 【挑戦する力】探究心や学び続ける姿勢を持ち、研修やOJT等を通じて自己研鑽に不断に取り組むとともに、同僚性の構築や若手教員の人材育成に積極的にかかわることができる。
- 【つながる力】組織の一員としての自覚を有し、自らの使命を理解し、役割を積極的に果たすことにより、学校運営に貢献することができる。
- 【展望する力】様々な教育(学校)改革や複雑化・多様化する教育課題を的確に把握し、改革の実現や課題の解決に向けて適切に対応することができる。

迫り方

学期ごとに、各人が学校評価(内部・自己評価30項目)を行い、学校教育目標及び目指す児童像に迫れるよう、次学期の目標を、個々の児童の顔をイメージしながら、具体的に設定する。

令和〇年度学期末学校評価(内部・自己評価)

〇学期		あなたが、児童に対してどの程度取り組めたかを自己評価してください。		該当するところに「」を入れる	
領域	テーマ	NO.	項目	よくできた	できた
学校アンケートに連動	授業改善①知識技能	1	児童の知識や技能の習得に努めた。		
		2	習得した知識や技能を、活用(応用)させた。		
	授業改善②学びに向かう力	3	学校で学んだことを生活に生かそうとした。		
		4	いつも好きな本(マイブック)を近くに置かせた。		
	読書活動	5	新たな分野の本に興味・関心をもちようとした。		
		6	自分のための家庭学習として捉えさせ、自主的に宿題や自主学習に取り組もうとした。		
	異学年交流	7	異年齢集団の活動を通して、下級生は上級生を慕い、上級生は下級生を優しく守ろうとしている。		
		8	いじめを見逃さず、児童に寄り添い、仲間を大切にしようとした。		
	仲間づくり(学級)	9	学年だより、学級だより、HP等で、児童の様子について、分かりやすく伝えようとした。		
		10	一人ひとりの児童に寄り添い、安心して、楽しく学校に通えるように努めた。		
	情報発信	11	安全で楽しく学習できるように、安全で整備された学習(教室)環境づくりに努めた。		
		12	教育の専門家として、研修や教材研究に励み、保護者(や地域)の期待に応えようとした。		
報連相	学校経営参画	13	主任会やそれぞれの分掌会議で意見を述べ、学校経営に参画した。		
		14	教務主任、教頭、校長への「報告・連絡・相談」を行い、情報共有とともに、適切な対応を行った。		
学級経営	学級目標	15	学級目標を児童と共有し、常に活動し振り返りようとした。		
		16	休み時間は児童と遊んだり、共に活動したりして、つながりを深めるとともに仲間づくりに取り組んだ。		
授業づくり①	理解教育	17	障害や特性のある児童が仲間として認められるよう、理解教育に取り組んだ。		
		18	主体的・対話的で深い学びを取り入れた授業を行った。		
		19	実生活(必然性)に関する課題設定に基づき、主体的な探究学習を行った。		
		20	"Thinking Tool"活用で情報整理・分析し、目的意識をもって伝えるように取り組んだ。		
		21	めあてを明確にするとともに、めあてに授業改善の視点を取り入れた。		
		22	重点研究を蓄積した授業を学期1単元行い、学年や低中高ブロック、校内研で公開した。		
授業づくり②	授業交換・道徳	23	道徳の授業交換を行い、授業力向上に努めた。		
		24	プログラミング的思考をねらいとした授業を学期1単元取り組んだ。		
		25	スマホやネット社会に対する情報モラルの授業を実施した。		
		26	児童にICT機器を使用させ、情報活用能力向上の授業を実施した。		
学力	基礎・基本	27	一人ひとりの学習課題と向き合い、適切な支援や補習等で学力補完を行った。		
		28	変化する発展問題を準備し、課題を終えた児童の学力向上に努めた。		
連携者	不登校・しじり	29	不登校やしじり、家庭的に課題を有する児童に寄り添い、組織的に対応し、保護者との連携を図った。		
		30	家庭訪問でのつながりを大切にし、課題を有する児童以外にも、保護者との連携を図った。		

児童及び保護者の評価、教職員の自己評価や日々の振り返りを踏まえて
常に UPDATE !